

『日本書紀研究』第三十三冊執筆要項

一 募集論文

- a 『日本書紀』に関連する研究成果をまとめたもの。文献史学以外の研究方法でもかまいません。
- b 結論となる要旨が他の論文などで公表されていないもの（初出論文に限ります）。
- c 原則、日本書紀研究会例会で発表したもの。ただし、編集委員会による依頼原稿は、この限りではありません。なお遠隔地からご投稿される方は、事務局へご相談ください。

二 論文の枚数

- a 四〇〇字詰め原稿用紙三〇〜七五枚程度（一二〇〇〇〜三〇〇〇〇字程度。挿図・挿表・注などを含みます）。多くとも八〇枚を超えないようにしてください。
- b 仕上がりは本文縦書きで、五〇字×一八行が一ページです。
- c 挿図・挿表の仕上がり寸法は最大で、幅一〇・五センチ×高さ一六・五センチ（キャプション込み）です。

三 仕様

版面・注・引用文献・度量衡や英語表記などの仕様は、既刊の『日本書紀研究』に準じます。

四 要旨（概要）・目次

五〇字×八行以内にとめた論文の要旨（氏名・論題は一行、『日本書紀研究』第三十一冊の序を参照）と、章立ての目次を各三部添付してください。
（査読・編集の都合上、要旨が明瞭に整理されていないことが問題となる場合もあります）

五 入稿方式

- a 完全原稿による入稿とします。手書き原稿でもかまいません。
- b 原本一部、複写二部の計三部をお送りください。
- c ワードプロ原稿の場合は、ワード文書または一太郎文書でお送りください（バージョンは不問）。念のため、ワードソフトの名称を記すとともに、テキスト文書を添付してください。
- d 挿図（写真を含む）・挿表などは、掲載場所とおおまかなレイアウトを指示してください。データの様式などは事務局にご相談願います。折り込み図版等はご遠慮ください。

六 論文審査

原稿の採否は査読のうえ、三ヶ月程度で投稿者に通知します。

七 締め切り

二〇一八年二月二十八日（水） 早めに投稿し、校了されることをお勧めします。

八 送付先

〒六一六・八一六四 京都市右京区太秦桂木町五の十四

檜崎千城（日本書紀研究会事務局）宛 ㊞〇七五・八七一・五八〇三

九 その他

- a 執筆者には原稿掲載図書を一冊贈呈します。抜刷は作成しません。
- b 掲載された論文をウェブまたは刊行物の一部として公開する場合、本研究会の承諾は必要ありませんが、必ず塙書房（㊞〇三―三八二―五八二一）にご相談ください。
- c 『日本書紀研究』第三十二冊以降は、通常の投稿論文のほか、「研究の現状と課題」をまとめた論考も掲載していく予定です（くわしくは日本書紀研究会事務局までお問い合わせください）。